

# 主 な ト ピ ッ ク ス

## バイオエタノール製造実証プラント竣工

環境省地球温暖化対策技術開発事業(競争的資金)により、平成20年10月から行ってきた技術開発研究の一環として、みかんジュースの搾りかすを原料とする全国初のバイオエタノール製造実証プラントが松山市内に完成しました。

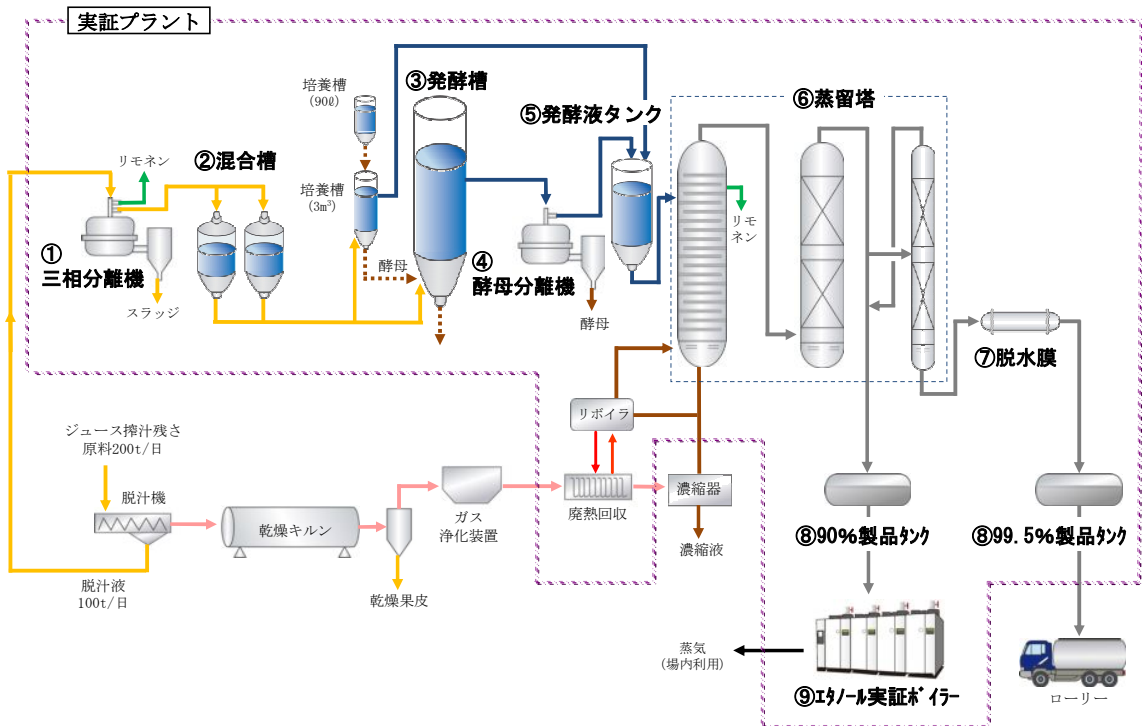
このプラントは、日量5klのバイオエタノールを製造することができ、できたバイオエタノールをガソリンに混ぜて自動車用燃料として使用した場合、1日当たり6.4トンの二酸化炭素削減効果が見込まれます。



バイオエタノール製造実証プラント外観



試験製造したバイオエタノール



実証プラントのフロー図

## えひめ環境大学特別講座

愛媛県環境創造センターは、これからの望ましい環境創造のための先進的技術開発や施策展開を、総合的かつ計画的に企画・立案、実施するために平成12年4月に設立されたもので、設立10周年を迎えたことから、これを記念して「えひめ環境大学特別講座」を平成22年11月27日（土）に開催しました。

特別講座では、センターの10年の歩みを紹介するとともに、「21世紀の環境を考える」をテーマに、立川所長、最前線で環境問題を取材されている井田徹治氏に講演を頂き、環境活動家や実施者など約150名の県民が受講されました。

開催日時	講師	演題
11月27日（土） 【13:30～16:00】	環境創造センター所長 立川 涼	様変わりが予想される化学物質安全対策 —環境ホルモン問題が提起した—
	共同通信社科学部編集委員 井田 徹治	暮らしの中の生物多様性 —生命の危機、今できることは何か—



## 愛媛県原子力センターの開設について

平成22年10月1日（金）、八幡浜市保内町宮内に、「愛媛県原子力センター」を開設しました。

住民の安全・安心と地域の環境を守るための環境放射線の常時監視、環境試料の放射能調査、発電所の立入確認等については、衛生環境研究所（松山市）と愛媛県八幡浜支局（八幡浜市）で実施してきましたが、伊方発電所により近い場所に原子力センターを開設し、より迅速かつ的確に安全監視と緊急時対策を図ることとしました。



※10月7日に実施された開所式の様子

## 愛媛県廃棄物処理センターの「微量PCB処理施設」の認定

財団法人愛媛県廃棄物処理センターは、全国で初めて、平成22年6月11日付けで微量ポリ塩化ビフェニル（PCB）汚染廃電気機器等を高度な技術を用いた無害化処理を行う施設として、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく環境大臣の認定を受け、処理事業を開始しました。

これにより、これまで処理できずに保管を強いられてきた全国の微量PCB汚染廃電気機器等の処理が大きく前進することとなりました。

事業所所在地	愛媛県新居浜市磯浦町 18-78
施設供用開始時期	平成12年1月 (微量PCB汚染廃電気機器等は、平成22年6月～)
処理方式	ロータリーキルン式焼却・溶融（2炉）
処理対象物 (H22年6月現在)	一般廃棄物・産業廃棄物
	焼却灰、有機汚泥、廃プラスチック、感染性廃棄物、廃油等
	<b>微量PCB汚染廃電気機器等</b> ○微量PCB汚染絶縁油 ○微量PCB汚染絶縁油が塗布され又は染み込んだ紙・木 ○微量PCB汚染絶縁油が封入された小型コンデンサ

愛媛県廃棄物処理センター

微量PCB汚染絶縁油専用保管タンク



(財) 愛媛県廃棄物処理センター <http://www10.ocn.ne.jp/~econix/>

## 【「三浦保」愛基金事業】

### えひめ環境新時代地域づくりフォーラムの開催

「えひめ環境基本計画」及び「愛媛県地球温暖化防止実行計画」を平成22年2月に策定したことを契機として、県民総ぐるみで環境保全に積極的に取り組む社会、持続的発展が可能な社会である「えひめ環境新時代」の実現を目指す機運の醸成を図るため、基調講演や、先導的な取組を行っている事業者、環境活動団体、学校、市町の代表者が参加するパネルディスカッションを行うフォーラムを開催しました。

- 1 日 時 平成 22 年 10 月 31 日（日）13：30～16：30
- 2 場 所 国立大学法人愛媛大学 南加記念ホール（松山市文京町 3 番）
- 3 内 容 ①環境啓発ポスターコンクール表彰式
- ②「えひめ環境基本計画」及び「愛媛県地球温暖化防止実行計画」の概要の説明
- ③基調講演「低炭素時代に向けた地域の役割」  
浅岡 美恵（NPO法人 気候ネットワーク代表）
- ④パネルディスカッション  
テーマ 「環境新時代に向けた地域づくりと私たちの行動」  
コーディネーター 浅岡 美恵  
パネリスト 重松 昌司（株フジ 環境保全推進・品質管理室長）  
小澤 潤（NPO法人 愛媛生態系保全管理）  
玉井 修二（愛媛県立伊予農業高等学校 教諭）  
木原 荘二（愛南町環境衛生課 課長）



### 生物多様性キャラバンセミナー（いきもの語り）の開催

生物多様性に対する県民の関心を高めていくため、東予・中予・南予において、それぞれの地域の身近なテーマで「生物多様性の大切さ」を語りつないでいくセミナーを開催しました。

日時	場所	テーマ・講師	参加者数
H22. 5. 25	愛媛県美術館	「アライグマはかわいい？怖い？」 阿部 豪（兵庫県立大学 特任助教）	60 名
H22. 7. 30	愛媛県総合科学博物館	「日本経団連生物多様性宣言について」 半谷 順（(社) 日本経済団体連合会 自然保護協議会事務局 次長）	94 名
H22. 11. 18	愛媛県歴史文化博物館	「コウノトリ育む農法について」 西村いつき（兵庫県農政環境部農業改良課 環境創造型農業専門員）	65 名